

神奈川県立横須賀工業高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

| | |
|--------------|---|
| 審議会等名称 | 横須賀工業学校運営協議会 |
| 開催日時 | 平成30年6月18日 |
| 開催場所 | 校長室 |
| (役職名) 出席者 | <p>会長 海浦 洋子 (横須賀工業高等学校長)</p> <p>多田 満 (根岸町4丁目町内会長)</p> <p>瀧澤 清 (神奈川県異業種連携協議会理事 航空宇宙コンソーシアム まんてんプロジェクト会長)</p> <p>安齊 講一 (秋桜会(本校同窓会)会長 足柄ふれあいの村所長)</p> <p>岩田 嘉純 (公郷小学校長)</p> |
| 次回開催予定日 | 平成30年9月28日 |
| 問い合わせ先 | <p>横須賀工業高等学校副校長 金井 一夫</p> <p>電話番号 046-851-2122</p> <p>ファックス番号 046-851-5643</p> |
| 下欄に掲載するもの | 議事録 |
| 審議(会議)経過 | <ul style="list-style-type: none"> ・(カリキュラム開発グループ/佐藤) 工業高校として育成すべき人物像の実現を課題として取り組んだ。具体的な試みとして、授業数の中で大きなウェイトを占める選択科目の精選を行う必要がある。 ・(企画研究グループ/小室) 地域等との交流に尽力した。生徒が地域に出るだけでなく、外部から学校に講師を招き、講演を依頼するという形式も検討している。また、HPの充実も重要課題である。具体的には保護者用に配布した重要な内容のプリントをHPにアップすることに取り組んだ。近々、県内公立高校でフォーマットが統一されるが、その上でも特色を出していきたい。 ・(生活指導支援グループ/福山) 集中して静かに授業に取り組むことが得意でない生徒たちに対し、どのような指導をしていくのかが課題である。個々の指導の充実だけでなく、学校全体としての意思統一を図り、組織的に指導に取り組んでいきたい。また、交通事故ゼロを目指しての取り組みを行う。外部業者に委託してのスケアードストレイトを敢行し、さらには自転車の整備状況の確認も逐一行っていく。 ・(学校管理運営グループ/石村) |

地域と連携した防災への意識向上を目標としている。具体的には全校、全職員を対象とした DIG 研修を行い、定期的に周辺の高台の清掃および確認を行っている。今後、本校のみならず、他校の訓練や講演等を見学し、連携を強めていきたい。また、実際に周辺地域を歩いてみることで理解を深めるとともに、教員への意識向上を図りたい。校内においては防災美化タイムを設けるとともに毎月生徒に対しアンケートを実施し、ゴミに対する理解を深めようとしている。

・(生徒活動支援グループ/金井副校長)

生活に課題のある生徒に対する支援を徹底している。具体的には問題が生じた際、迅速に教員間での共有を行うとともにケース会議を実施し、その対応を即座に検討している。昨年と比べ、認知件数が減少しており、喜ばしいことである反面、潜在化してしまっている案件があることも事実であるため、改善していきたい。また、スクールカウンセラーの拠点校化を行い、来校していただける日数を増やすことができている。部活動への入部状況が芳しくなかったことを受け、本年より部活動見学を義務化した結果、大幅に入部率が上昇した。来年度以降も継続して行っていきたい。

・(進路支援グループ/金井副校長)

基礎力診断テストを実施してはいるものの、いまひとつ、有効的な活用ができていない。具体策として、担任、教科担当が生徒のデータを正確に把握し、本人にも伝えることで、生徒個人の弱点を顕在化させていきたい。本校の特色でもある資格取得へのサポートは、より一層強めていきたい。

・(工業推進グループ/金井副校長)

インターンシップをより充実させていく。本年も 75 箇所の実業所の協力の下、実施予定。企業のニーズを把握し、それに合った取り組みを行っていきたい。

多田委員

・交通事故は生徒のプライベートで発生したものか。通学中のものか。

回答：どちらもある。

自転車で通学する生徒に対して、通学路を指定してみてもどうか。通る道が選定できれば教員側もケアがしやすく、地域のドライバーも警戒ができるのではないかな。

・小中学校と合同で避難訓練を行ってはどうか。地域との連携を深めつつ、地震があった場合には高台へ逃げるといった意識付けをより強くしていかなければならないのではないかな。

瀧澤委員

・インターンシップの推進を強めてほしい。どうしても企業側には負

| | |
|----------------|---|
| | <p>担になるもの。その上で引き受けていただいていることをよく理解し、できるだけ企業にとってのメリットがあるような取り組み方を検討すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの充実について、取り組むこと自体は非常に重要だが、なかなか難しいのも事実。様々な試行錯誤の下、頑張ってもらいたい。 <p>安斉委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択科目の精選はより強化して行うべき。県からは授業時数の確保が降りてきているが、そこで生じる歪みを各コマ2分延長して解消することは生徒にとって有効な方法なのか検証が必要である。流行に流されず、本校にマッチしているかをしっかり見極めたうえで判断してほしい。 ・人権教育について、昨年まで2年間行ってきた内容はすばらしい。しかし指定校を外れた今年度、「引き続き推進する」程度の目標でよいのか。取り組みにより、目に見える数値として向上していることは確かだが、元々の数値が低すぎたことによるもの。より伸ばしていくために、もっと高い目標を設定する必要があるのではないか。 ・部活動は普段の学校生活では獲得できない、様々なことを生徒が自発的に学ぶことのできる重要な場。入部率増加は嬉しいニュースだが、より一層の推進を。 <p>岩田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀教育委員会からの情報で、小学校低学年から、すでに学習状況に課題のある生徒がいる。中学校を含めた9年間のスパンで見ると学力は良化傾向にあるが、課題のある生徒に対してもしっかりとアプローチを行っていかなければならない。 ・スクールカウンセラーの拠点校化は非常に喜ばしい。生徒はもちろんのこと、教員もしっかり活用してほしい。 ・野球部の会大会が近づいている。野球部のみならず、様々な部活の良い結果を楽しみにしている。 |
| <p>会 議 資 料</p> | <p>学校目標等</p> |